

2022.06.06

## 2022年度 立命館地理学会大会のご案内（第1報）

2022年度（第34回）立命館地理学会大会（後援：立命館人文学会）を下記のとおり開催いたします。  
皆様のご参加をお待ちしております。

**日時：**2022年11月26日（土） 13時00分～17時00分

**場所：**立命館大学衣笠キャンパス 以学館1号ホール

※新型コロナウイルス感染症の状況によってはオンライン開催となる可能性があります。最終的な開催形態につきましては本 Web サイトでご案内します。

### 2021年度優秀卒業論文発表：

発表1：竹中 琢視（北海道旅客鉄道株式会社）

「鉄道路線の廃止を伴う公共交通網の再編が住民に与える影響―北海道夕張市を事例に―」

発表2：井上 大夢（株式会社足利銀行）

「複合型スキーリゾートの発達と観光の変容

―第二次スキーブーム以降の新潟県湯沢町岩原地区を事例として―」

### 大会シンポジウム：「観光と感染症」

**趣旨：**2019年12月に中華人民共和国の武漢市で初めて確認されたCOVID-19（新型コロナウイルス感染症）は、観光に極めて大きなインパクトを与えました。この感染症は、人々の観光移動を制限し、それまでのオーバーツーリズムが喧伝されていた状況を一変させたのです。観光を行う場合でも、マスクの着用、ソーシャル・ディスタンスなど、それ以前とは異なるスタイルが求められるようになりました。また、ヴァーチャル・ツーリズムなど、デジタル化と連動した新しい観光のあり方も前景化しています。多くの観光地や観光施設では、大幅な観光客の減少に対して経済的な側面から集客の回復が希求されつつも、感染症の流入も防ぐ必要があるという、難しい対応に迫られています。このシンポジウムでは、こうした観光と感染症のさまざまな関係について検討していきます。

### 招待講演：

講演1：橋本 和也（京都文教大学名誉教授）

「『感染症とともにある観光学』の試み」

講演2：安江 枝里子（杏林大学外国語学部准教授）

「感染症による移動の制約と再帰的な観光」

講演3：麻生 将（二松学舎大学文学部専任講師）

「観光における排除と感染症」

**パネルディスカッション：**座長：神田 孝治

**連絡先：**〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 立命館大学文学部地理学教室気付

立命館地理学会集会委員会

e-mail (geojimu[at]st.ritsume.ac.jp) ※[at]は@に置き換えて下さい。

FAX 075-465-8296